

ピリオドスコア・戦評 決勝リーグ その2

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A1	242	女	千葉英和	8	8	9	18	43	B1	282	女	千葉経大附	20	12	14	18	64
	201		昭和学校	26	15	24	13	78		222		市立柏	32	18	19	26	95
<p>両チーム共にマンツーマンでスタートする。スタートから着実に得点を重ねる昭和对し、英和は昭和のディフェンスを攻めあくみ11-2となったところですがささずタイムアウト。しかし、その後もゲームの流れは変わらず攻めあくむ英和に対し昭和は#12のゴール下、#9のステールから速攻、#8の連続ゴールなどで点差を開き41-16の昭和がゲームを決定づけて前半を終了する。後半に入り英和はディフェンスをゾーンに変えたりオールコートプレスを出し掛たりと反撃するも昭和は選手を交代しながら着実に得点を重ね78-43で快勝した。</p>									<p>立ち上がり硬さのみされる両チームだったが、抜け出したのは市立柏。#6のドライブ、#12の1対1、フリースローを確実に決め市立柏が32-20とリードで1Q終了。追いつきたい経済だがミドルシュートが決まらず苦しい展開。市立柏は着実に加点しリードを広げて50-32で前半終了。後半に入っても市立柏優位は変わらず。最後まで試合の主導権を握った市立柏が落ち着いたゲーム展開で快勝。最終戦に望みをつないだ、ヘッドコーチの思い描いていたゲームプランを上回る快勝であった。</p>								
A2	142	男	幕張総合	15	19	11	8	53	B2	182	男	柏日体	23	27	21	21	92
	101		市立船橋	26	23	29	23	101		122		東海大浦安	20	22	17	28	87
<p>両チームともマンツーマンで試合開始。市立船橋は早い展開から得点していき、対する幕張総合はディフェンスを2-3ゾーンに変え返すが15-26市立船橋リードで1Q終了。2Q、幕張総合は#8の得点で流れを掴むが市立船橋も#4を中心にゲームを組み立て点差を詰めさせない。34-49市立船橋リードで後半戦へ。3Q市立船橋はインサイドプレーで得点を重ねる。幕張総合は市立船橋の堅いディフェンスを崩せず45-78と差を広げられて3Q終了。4Q、市立船橋は大量リードもあり余裕の試合運びを見せる。101-53、市立船橋が勝利</p>									<p>柏日体は立ち上がり#10がたて続けにファールをしてしまうが、変わった#14と#5が落ちてインサイドを頑張り着実に得点する。それに対し東海大浦安は#6の3P、#5のミドルシュートで応酬。2Q、柏日体がディフェンスでプレッシャーをかけ引き離そうとするが、東海大浦安も3Pなどで必死に食らいついていく。後半、東海大浦安はディフェンスを頑張り3Q残り4分で4点差まで詰める。柏日体は#10が再びコートに戻りパウンドを支配するとインサイドとアウトサイドがかみ合いリードを広げる。4Q柏日体は粘る東海大浦安の必死の反撃をかわし初のインターハイ出場を決めた。</p>								
A3	201	女	昭和学校	18	39	24	13	94	B3	222	女	市立柏	11	10	19	13	53
	282		千葉経大附	12	13	12	12	49		242		千葉英和	29	23	30	28	110
<p>両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタートする。ディフェンスを頑張り走る千葉経済が得点を重ねるのに対し、#12がファールを2回し、重い雰囲気になった昭和は、2-8とリードされタイムアウトを取る。落ち着きを取り戻した昭和は#12のインサイドプレーを中心に得点を重ねる。逆に千葉経済は昭和のディフェンスを攻めあくみ逆転される。その後も、#8、#9、#12が着実に得点を重ねる昭和に対して、千葉経済も持ち前のディフェンスからの速攻で加点するが徐々に点差は開き57-25の大差で前半を終了する。後半に入ってもディフェンスから速攻の形でしか得点できない経済に対し昭和学院は着実に得点を積み重ねていく。自分たちのプレーを必死に頑張る経済を地力に勝る昭和学院が突き放し優勝を飾った。</p>									<p>インターハイ出場をかけた大一番。千葉英和は大逆転でのインターハイ出場を、市立柏は千葉経済を破った勢いを持続したままインターハイ出場を勝ち取ることができるか。1Qは共に2-1-2ゾーンディフェンス。柏が出だしからすぐに7点をとり主導権を握ったかに見えたが、失速。千葉英和の2-1-2ゾーンをまったく崩すことができない。ターンオーバーを連発し1Q残り2分には英和12点リード。タイムアウト明け、柏はマンツーマンディフェンスに変え打開を図るが、更に点差は広がる。2Q、市立柏は3-2ゾーンでリズムを変えようと試みるが、全く歯車がかみ合わない。タイムアウト後ゾーンプレスで打開を図るが、千葉英和もゾーンプレスで対抗、差はますます広がります。52-21で千葉英和大量リード。後半に入っても市立柏は悪い流れを全く断ち切れず千葉英和が快勝。得失点差で大逆転のインターハイ出場を決めた。</p>								
A4	101	男	市立船橋	25	25	17	27	94	B4	122	男	東海大浦安	18	8	13	20	59
	182		柏日体	17	12	17	20	66		142		幕張総合	11	25	15	17	68
<p>市立船橋はリバウンドからの速攻と3P、対する柏日体は#4の3Pで序盤は互角の戦いが続く。#7のインサイドと#4、#6の外周シュートで市立船橋が徐々にリードする。柏日体は#5らのシュートで応戦するが、#10が前の試合で負傷し出場していないのが響き、市立船橋がリバウンドを支配。速攻と的確なシュートで市立船橋が21点リードで前半終了。後半、柏日体が積極的にシュートを狙い115点差まで縮めるが、総合力で勝る市立船橋が終始リードを保ち優勝した。</p>									<p>お互いマンツーマンで試合開始。立ち上がりリズムのつかめない幕張に対し東海大浦安#14のリバウンドシュートでリードを奪う。18-11東海大浦安リードで1Q終了。2Q幕張総合が#6のドライブインで逆転に成功。その後も得点を重ね26-36幕張総合リードで2Q終了。3Qは、一進一退の攻防が続く。終盤になると幕張総合#5がリバウンドを頑張り12点リードで4Qへ。巻き返したい東海大浦安は#9が連続得点を決め追い上げる。そして残り5分27秒ついに東海大浦安が逆転する。ここからはお互い譲らず残り1分10秒幕張総合#17のシュートが決まり55-62幕張総合リードとなり、東海大浦安タイムアウト。ディフェンスをオールコートに変え最後の勝負に出るが、幕張総合が落ち着いたボール運び逃げ切った。</p>								